

ヒアリングの実施について

I. 基礎研究の意義に関する事項

終了

対 象：産業競争力懇談会（COCN）

実施日：第2回WG（平成21年3月11日）

ヒアリング項目：

- ・産業界から見た基礎研究の意義（位置付け、基礎研究への期待）

II. 基礎研究強化に向けた研究資金の改革に関する事項

対 象：独立行政法人日本学術振興会、独立行政法人科学技術振興機構

実施日：第3回WG（平成21年3月31日）

ヒアリング項目：

- ① 基礎研究の意義・投資効果
- ② 競争的資金規模のあり方、安定的資金（運営費交付金等）とのバランスのあり方
- ③ 研究種目設定の考え方
- ④ 研究期間・研究資金額・採択率（現状と望ましい姿）
- ⑤ 研究資金の上限額設定の考え方
- ⑥ 各分野ごとに最適な研究期間・研究資金額についての考え方、各分野に配慮した配分方法の可能性に対する見解
- ⑦ 応募資格
 - ・現状の考え方（応募件数の現状とその妥当性に対する見解）
 - ・一定規模以上の研究費についてPI認定を厳格にする方向性に対する見解
- ⑧ 研究設備整備のあり方（競争的資金による設備購入に対する見解、設備の整備・管理運営の望ましい姿）
- ⑨ 高い透明性を持った審査制度（現状と望ましい姿）
- ⑩ 大挑戦研究を支援する研究費に係る審査方法（現状と望ましい姿）
- ⑪ 若手研究者のキャリアパスの構築に必要な方策
- ⑫ 基礎研究を強化するために必要な方策

III. 長期ビジョンに基づく国際競争力の高い拠点形成に関する事項

対 象：文部科学省高等教育局

実施日：第4回WG（平成21年4月15日）

ヒアリング項目：

- ① 拠点の考え方
 - ・拠点に求められる役割（国際競争力強化、人材養成、研究基盤整備など）
 - ・多様な拠点形成に関する長期ビジョン（目指すべき姿）
- ② 拠点形成に必要な方策